

公益社団法人日本トライアスロン連合（J T U）
2017年度（平成29年度）第3回理事会 議事録

[1] 開催：2017年9月27日（水）13：01～17：32

[2] 場所：J T U事務局（東京都渋谷区）会議室

[3] 出席者（理事24名、監事1名）：

岩城光英、國分孝雄、森崎俊紘、仲井公哉、大塚眞一郎、中山正夫、岸田吉史、飯島健二郎、山倉紀子、鈴木貴里代、村瀬訓生、和田知子、関根明子、山根英紀、富川理充、増田芳一、大関辰郎、園川峰紀、小林洋、吉田隆雄、宗定敏文、川崎寛典、加納修二、森兵次（以上、理事）。荻原政吉（以上、監事）。

・専門委員会出席（4名）

中山俊行（オリンピック対策チームリーダー）、笠次良爾（メディカル委員長）、山本良介（アスリート委員長）、斉藤大輝（エイジグループ普及委員長）。

・事務局出席（5名）

佐藤政人、坂田洋治、児玉健太、楠里紗、長江千明。

[4] 議事の経過

岩城会長は挨拶の後、三カ月間の業務執行状況を報告し、その間の慶弔関連についても弔意を表明した。理事の了承を受け、同スポーツマネージャーの鈴木理事が途中退席のため先に、2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会の準備状況報告を行った。

J T U 定款第6章（理事会）第34条（決議）により、事務方が出席理事23名を個々に確認し、定足数を満たしていることを報告した後に、同定款33条（議長）により会長が議長として開会宣言を行い、議事録承認者に大塚専務理事と園川理事、議事録作成者に事務方を指名し直ちに議案の審議に入った。

第0号議案）前回議事録

2017年度（平成29年度）臨時理事会及び第2回理事会の議事録案について、メール回覧済であることを報告した後に、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認した。

・承認事項1）J T U 2017年度臨時理事会・議事録案：2017年6月20日（火）品川プリンスホテル・メインタワー3階すみれ・しょうぶ会議室（東京都品川区）

・承認事項2）J T U 2017年度第2回理事会議事録案：2017年6月21日（水）品川プリンスホテル3階ハイビスカス・あじさい会議室（東京都品川区）

第1号議案）大会・合宿での安全管理対策関連

トライアスロン大会・合宿における安全管理に係る各案件の対応について、事務方から説明があり、各担当理事から補足説明の後に、質疑応答の後に、議長が賛否を求めたところ

ろ、満場異議なく承認可決した。

・承認事項 1) 第 5 回ナショナルチーム合宿（宮崎県、2017 年 1 月 21 日）での事故に係る理事会の決意表明文

・説明骨子) 本調査委員長でもある仲井副会長から経過報告があり、本事故からの教訓を生かし、理事会として全力をあげて選手の健康と安全に取り組むことを誓う決意表明が承認された。

・承認事項 2) 大阪城大会対策チームの設置

・説明骨子) 大阪城大会エイジグループ部門バイク競技での複数の落車、ケガ及び入院加療中選手の辛い状況が報告された。これらを受け、原因究明・再発防止・安全対策構築・本件対応等及び、来期開催の適正などを検討するために、大阪城大会対策チームを設置することが承認された。

・報告事項 1) 2017 年度スイム事故・救助報告

・報告事項 2) 各大会における各大会の取組み報告と活用案救急救命に係るアイデアや新機材を活用し選手の安全管理を推進する。

*スイム用選手管理バルーン（大阪城大会、和歌山大会他で実施）

*瞬間膨張式救命具・小型フロート（レスチューブ）各地で導入中。

*ローリングスタート事例等（アイアンマンで導入され、館山わかしお大会（千葉県）横浜シーサイド大会（神奈川県）で適用。ITU 規則導入済）

第 2 号議案) 強化チーム

標題について、オリンピック対策チームとパラリンピック対策チームの両リーダーから 2020 東京に向けた強化方針について所信表明と説明の後、事務方から説明があり、質疑応答の後に、議長がその賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

・承認事項 1) 2020 東京に向けた強化方針骨子

・説明骨子) パトリックヘッドコーチ作成の強化骨子案として、オリンピック対策チームは 2020 東京の目標を女子メダル獲得、男子 8 位入賞としミックスリレーは現時点で明確に定めないとした。次の戦略方針を掲げた。

1) 選手の戦略的な大会派遣の管理、2) メディカル情報の管理強化、3) メダルポテンシャルアスリートに特化した育成、4) サポート体制の強化。パラリンピック対策チームは 1) 選手の情報分析と数値設定の強化、2) スタッフのさらなる拡充と強化を来季の方針として掲げた。

・主要意見) パラ対策チームの具体的な指標を設定する。

・補足事項) 2020 東京オリンピック・パラリンピック日本代表選手選考規程作成委員会及び同選考委員会の設置案を次回理事会（2017 年 12 月 1 日）に提出する。

- ・承認事項 2) パラトライアスロン認定記録会の導入
- ・補足事項) 地域加盟団体が主催する認定記録会にパラ部門設置を要請する。

- ・承認事項 3) パラトライアスロンガイド発掘・育成プロジェクトの設置
- ・承認事項 4) 2017JTU パラトライアスロンミーティングの実施 (2017年12月2日 (土): 日本財団ビル 2F 会議室)
- ・承認事項 5) 2018年世界/アジアデュアスロン選手権エリート日本代表選手選考基準案
- ・承認事項 6) 2018年ITU世界クロストライアスロン選手権日本代表選手選考基準案
- ・承認事項 7) 2018年ITU世界アクアスロン選手権 (エリート、U23、ジュニア) 日本代表選手選考基準案
- ・承認事項 8) 2018年世界/アジアロングディスタンストライアスロン選手権 エリート日本代表選手選考基準案

第3号議案) 第二次補正収支予算案

標題について JOC からの補助金の追加内示に伴う補正案について事務方から説明があり、質疑応答の後に、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

- ・承認事項 1) 2017年度 (平成 29年度) 第二次補正収支予算書

第4号議案) 審判・技術関係

標題について事務方から説明があり、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

- ・承認事項 1) 第 23 回日本トライアスロン選手権 (10月15日)

技術代表 : 伊藤 一博 (千葉) 第 1 種公認審判員

男子審判長 : 川添 勝 (東京) 第 1 種公認審判員

女子審判長 : 石井なおみ (千葉) 第 1 種公認審判員

・主要意見) 女性の社会的役割の向上からも、男子審判長と女子審判長を設置することが重要である。そのためには男子審判員が女子審判員の活動を支援することも求められ、各ブロック理事による推進が促された。

- ・承認事項 2) 第 17 回日本デュアスロン選手権 (11月11日)

技術代表 : 蓮沼 哲哉 (福島) 第 2 種公認審判員

審判長 : 花井 哲 (神奈川) 第 1 種公認審判員

第5号議案) ドローン撮影での注意と活用案

トライアスロン大会で無人航空機 (ドローン等) での撮影における留意事項と活用案について事務方から説明があり、活用における方針について質疑応答の後に、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

- ・承認事項 1) 無人航空機（ドローン等）撮影での規則遵守と活用指針
- ・説明骨子) トライアスロンコースの映像説明や安全管理に活用する可能性が高いドローンの使用を適切に活用推進することが承認された。そのために、地域のドローン愛好会の支援を受けるなど、各大会に応じた活用方法を研究し、JTU 技術委員会等と連携し、競技の安全管理を促進する。

第 6 号議案) 公募大会結果

標題について大塚専務理事から説明があり、質疑応答の後に、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

- ・承認事項 1) 第 1 回日本ウルトラ ロングディスタンス トライアスロン選手権 (2018/五島長崎) の開催
- ・承認事項 2) ASTC アジア U23 ジュニアトライアスロン選手権 (2018/蒲郡) の開催
- ・補足事項) 2019 年以降の大会は、改めて開催地・自治体等と協議を進める。

第 7 号議案) JTU 経営戦略

標題について 2018 年以降の経営戦略方針について大塚専務理事から説明があり、質疑応答の後に、議長がその賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

- ・承認事項 1) JTU 経営戦略骨子
- ・説明骨子) 3 つのフェーズ (2018 年、2021 年、2028 年以降) で戦略を立て推進する。次回理事会 (12 月 1 日) までに各理事から意見を集約の上、提案を行う。

・承認事項 2) 称号変更方針

・説明骨子) 2017 年 ITU 総会において ITU から World Triathlon へ団体名称の変更が可決された。これに伴い、公益社団法人日本トライアスロン連合 (JTU) から公益社団法人ジャパン・トライアスロン (候補名) 等への変更を検討する。

第 8 号議案) 組織図改訂と専門委員一覧

標題について、事務方から説明があり、質疑応答の後に、議長が賛否を求めたところ、満場意義なく承認可決した。

- ・承認事項 1) J T U 組織図
- ・承認事項 2) 専門委員会の委員一覧と担当理事一覧。一人一委員会を基本とし、重複している場合は、いずれかをアドバイザーとする。全委員会の委員数のバランスを考慮し、特にエイジグループ委員会は増員を検討する。

〔5〕 報告と提案

1) 2020東京オリンピック・パラリンピック（スポーツマネージャー：鈴木理事）大会運営について準備状況（コース設定、テストイベント、ボランティアプログラム）が報告された。さらに、2020東京組織委員会アスリート委員である関根理事から最近の活動報告があった。

2) IFインターン派遣事業

スポーツ庁委託の国際展開基盤形成事業（IF等事務局スタッフ派遣支援）において、2017年10月からUSAトライアスロンと国際トライアスロン連合（ITU）に長江千明JTU事務局員をインターン派遣することが報告された。

3) アスリート委員会（山本委員長）

アスリート委員会から、オリンピック対策チーム等と強化方針と安全対策等について、より情報を連携していくことが報告された。

4) 高校生普及委員会（園川委員長）

高校生普及委員会から高校生普及にかかる長短期計画が報告された。

5) エイジグループ普及委員会（齊藤委員長）

エイジグループ普及委員会からエイジランキングの刷新案を次回理事会（2017年12月1日）で提出することが報告された。

6) スポーツ仲裁シンポジウム（荻原監事）

からスポーツ仲裁シンポジウムの報告があり、ドーピング行為について来年度から法規制が行われる方針であることが報告された。

〔6〕 次回理事会：

2017年度（平成29年度）第4回理事会：2017年12月1日（金）JTU事務局会議室で13時開始予定。

〔7〕 閉会宣言

國分副会長の挨拶の後、本日の理事会すべてが終了したことが告げられ、17時32分に閉会した。

議事録署名と押印：

(岩城光英・議長・会長・代表理事)	(印)	2017年	月	日
(荻原政吉・監事)	(印)	2017年	月	日
(大塚眞一郎・専務理事)	(印)	2017年	月	日
(園川峰紀・理事)	(印)	2017年	月	日

=以上=